

教科名	数学	科目名	数学演習a	履修学年	中学(高校)	3年	2	組	
単位数	5単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 改訂版 数学Ⅲ						
担当者	星野		数研出版 改訂版 サクシード 数学Ⅲ						
学習目標	暗記型の学習から脱却し、意味理解を重視した学習観の獲得を目指す。 数学的思考を経験する中で概念の構造化を目指す。 振り返りにより学習課題を見出し、望ましい学習観に基づいた学習サイクルを身につけ実践することを目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	教科書に記載されている数学的な事実、解法の意味を理解して習得する。また、習得した解法等を用いることで、自力で基本的、典型的な数学の問題解決を図ることができる。		獲得した知識・技能の組み合わせることで、より高度な数学の問題解決をすることができる。また、他者に誤解なく伝わる表現(大学入試を念頭に置き、記述での表現を重視する)で数学的な思考を伝えることができる。			学びの質を高めるために振り返りにより教訓の抽出、学習課題の設定を行い、それを次の学びに活かし学び方を改善しようと努力することができる。また、学びそのものを粘り強く継続して取り組むことができる。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査、朝テスト		定期考査			授業等の振り返り 自主設定課題への取り組み 問題集ノート 授業中の学びに向かう態度			
学期末の 各観点比率(%)	40%		30%			30%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	数学Ⅲ 第8章 積分法の応用 第6章 微分法の応用 第2節 速度と近似式					25	1 学期 中間 考査	
	5								
	6	数学Ⅲを中心とした入試基本解法定着ための演習					21	1 学期 期末 考査	
	7								
	8								
2	9	入試総合演習					31	学 年 末 考 査	
	10								
	11								
	12								
3	1								
	2								
	3								

2024年度

教科名	数学	科目名	数学演習a (IAIB)	履修学年	中学 高校	3 年	4、5 組		
単位数	5	使用教科書 補助教材等	自作プリント						
担当者	竹田		2023大学入学共通テスト						
学習目標	数学IAIBの各単元について、入試標準問題及び共通テスト問題を迷いなく解けるようにする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	授業を通して学んだ基本的事項や原理法則等を理解している。 また、問題に対して学習した内容の理解および知識利用して、数学的な処理ができる。		数や式、グラフ、図形等の知識・技能を活用し、それらを組み合わせて諸問題に対応しようとしている。 また、自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。		知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、積極的に授業に参加したり諸問題に粘り強く取り組みを行おうとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	定期考査		定期考査		授業課題				
学期末の 観点比率(%)	40%		30%		30%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	●数学IAIB問題演習					26 1	1 学期 中間 考査	
	5	中間考査							
	6	●数学IAIB問題演習					23 1	期 末 考 査	
	7	期末考査							
8							2 学期 中間 考査		
2	9	●数学IAIB問題演習					29 1	期 末 考 査	
	10	中間考査							
	11	●数学IAIB共通テスト実践演習					26	期 末 考 査	
	12	期末考査							
1	進路決定者					12			
3	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学演習a	履修学年	中学 高校	3 年	4, 5 組		
単位数	5	使用教科書 補助教材等	数研出版 改訂版 数学Ⅲ						
担当者	渡辺 山内(竹田)		数研出版 改訂版 教科書傍用 サクシード 数学Ⅲ プリント						
学習目標	1学期前半で数Ⅲの基礎力を習得、以降はⅠAⅡBも含めた入試基本問題演習を行う。 推薦希望者が多いが、大学に入ってから一般入試の人に劣らないような数学力の習得を目標とする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	授業および教科書を通して学んだ基本的事項や原理法則等を理解している。 また、問題に対して学習した内容の理解および知識利用して、数学的な処理ができる。		極限、グラフ、求積等の知識・技能を活用し、それらを組み合わせて諸問題に対応しようとしている。 また、自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。		知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、積極的に授業に参加したり諸問題に粘り強く取り組みを行おうとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	主に、定期考査100点のうち、基本問題を50%程度出題し、知識・技能の習熟度合いを評価する。		習得した知識・技能を様々な問題に活かせるかを図るため、定期考査では50%程度出題する。		理式・技能、思考力・判断力・表現力を身につけるため、粘り強く取り組んでいるかを評価する。そのためには、普段の授業に対する取り組みや、提出物、小テスト等を総合判断する。				
学期末の各 観点比率(%)	40%		30%		30%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【 数学Ⅱ】 【 数学Ⅲ】第7章 積分法 第2節 定積分 8. 定積分の種々の問題					26 1	1 学期 中間 考査	
	5	【 数学Ⅲ】第8章 積分法の応用 1. 面積 2. 体積 3. 曲線の長さ 4. 速度と道のり * 微分方程式 中 間 考 査							
	6	基本問題演習					23 1	期 末 考 査	
	7	期 末 考 査							
	8	入試問題演習 (5)						学 年 末 考 査	
2	9	入試問題演習					29 1		
	10	学 年 末 考 査							
	11	入試問題演習					26		
	12								
3	1	進路決定者					12		
	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学演習b	履修学年	中学・ <u>高校</u>	3年	2	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	プリント 必要に応じて、数研出版の数学ⅠAⅡBⅢの教科書・問題集を使用する。						
担当者	白岳								
学習目標	共通テストで高得点を獲得するために基礎から再学習し、演習を通じて思考力を養成する。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 定義や基本問題の解法が身に付いているか。 正確かつ素早い計算能力が身に付いているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 問題文から適切に情報を読み取り、取捨選択ができていないか。 誘導に沿って考えたりや一般化したりすることで構造的に問題を捉えられるか。 			<ul style="list-style-type: none"> 目標に向けて継続的な学習が行われているか。 自分の課題などを把握・設定し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。 			
各観点の授業内 評価方法等	試験は授業内で実施するものとする。問題ごとに「知識・技能」と「思考・表現・判断」の観点を設定し、その得点率で評価する。 「主体的に学習に取り組む姿勢」は授業の振り返りと課題の取り組み状況・内容で評価する。								
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	○数学ⅠAⅡBC基本演習					6	1 学期 中間 考査	
	5	○数学ⅠAⅡBC基本演習							
	6						10	1 学期 期 末 考査	
	7	○1学期振り返り							
8						2			
2	9	○数学ⅠAⅡBC実践的な演習					6	学 年 末 考 査	
	10	○数学ⅠAⅡBC実践的な演習							
	11						14		
	12	○2学期振り返り							
3						4			
3	1								
	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学演習b	履修学年	中学(高校)	3年	4,5組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	自作プリント					
担当者	山崎							
学習目標	数学ⅠAⅡBの各単元を中心に、基礎的な知識の習得・確認および技能の習熟を図り、入試標準問題および共通テスト問題を解けるようにする。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	高校2年次までに学んだ基本的事項や原理法則等を理解している。 また、問題に対して学習した内容の理解および知識利用して、数学的な処理ができる。		記述問題を中心に、論理的な解答ができること、さらに、それらを組み合わせてやや発展的な諸問題に対応しようとしている。 また、自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。		知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、積極的に授業に参加したり諸問題に粘り強く取り組みを行おうとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	主に、授業内テストを実施し、知識・技能の習熟度合いを評価する。		習得した知識・技能を様々な問題に活かせるか、小テスト等で評価する。		知識・技能、思考力・判断力・表現力を身につけるため、粘り強く取り組んでいるかを評価する。そのためには、普段の授業に対する取り組みや、提出物等を総合判断する。			
学期末の 観点比率(%)	40%		30%		30%			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	数学ⅠAⅡBの問題演習を通じて基本事項の確認				11	小テスト・課題提出	
	5							
	6	数学ⅠAⅡBの問題演習を通じて基本から標準的事項の確認				9	小テスト・課題提出	
	7							
8								
2	9	可能な限り学系ごとに数学ⅠAⅡBの入試標準問題演習に取り組む				11	小テスト・課題提出	
	10							
	11	数学ⅠAⅡB入試標準問題から共通テスト実践演習				11	小テスト・課題提出	
	12							
1	推薦合格者に対する授業は、調査をした上で基本事項の確認をする予定				5			
2								
3								






教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	履修学年	中学・ <u>高校</u>	3年	7～9	組	
単位数	5 単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT 数学Ⅲ						
担当者	星野, 加来, 永野		数研出版 CONNECT 数学Ⅲ+C						
学習目標	暗記型の学習から脱却し, 意味理解を重視した学習観の獲得を目指す。 数学的思考を経験する中で概念の構造化を目指す。 振り返りにより学習課題を見出し, 望ましい学習観に基づいた学習サイクルを身につけ実践することを目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	教科書に記載されている数学的な事実, 解法の意味を理解して習得する。また, 習得した解法等を用いることで, 自力で基本的, 典型的な数学の問題解決を図ることができる。		獲得した知識・技能の組み合わせることで, より高度な数学の問題解決をすることができる。また, 他者に誤解なく伝わる表現(大学入試を念頭に置き, 記述での表現を重視する)で数学的な思考を伝えることができる。			学びの質を高めるために振り返りにより教訓の抽出, 学習課題の設定を行い, それを次の学びに活かし, 学び方を改善しようと努力することができる。また, 学びそのものを粘り強く継続して取り組むことができる。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査, 朝テスト		定期考査			授業等の振り返り 自主設定課題への取り組み 問題集ノート 授業中の学びに向かう態度			
学期末の 各 観点比率(%)	40%		30%			30%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	数学Ⅲ 第2章 極限 第2節 関数の極限					24	1 学期 中間 考査	
	5	第3章 微分法 第4章 微分法の応用 ※6 速度と加速度, 7 近似式は第5章学習後に扱う							
	6	第5章 積分法とその応用					23	1 学期 期末 考査	
	7	1学期期末考査後の授業期間および7月17日～19日の期間に短期集中講義を行い, 数学Cの第1章, 第2章を扱う予定							
	8								
2	9	入試総合演習					30	学 年 末 考 査	
	10								
	11						26		
	12								
3	1								
	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	履修学年	中学(高校)	3年	7~9	組				
単位数	5 単位	使用教科書 補助教材等	オリジナルプリント									
担当者	樋田											
学習目標	暗記型の学習から脱却し、意味理解を重視した学習観の獲得を目指す。 数学的思考を経験する中で概念の構造化を目指す。 振り返りにより学習課題を見出し、望ましい学習観に基づいた学習サイクルを身につけ実践することを目指す。											
評価方法												
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢							
評価規準	教科書に記載されている数学的な事実、解法の意味を理解して習得する。また、習得した解法等を用いることで、自力で基本的、典型的な数学の問題解決を図ることができる。		獲得した知識・技能の組み合わせることで、より高度な数学の問題解決をすることができる。また、他者に誤解なく伝わる表現(大学入試を念頭に置き、記述での表現を重視する)で数学的な思考を伝えることができる。		学びの質を高めるために振り返りにより教訓の抽出、学習課題の設定を行い、それを次の学びに活かし、学び方を改善しようと努力することができる。また、学びそのものを粘り強く継続して取り組むことができる。							
各観点の授業内 評価方法等	定期考査、朝テスト		定期考査		授業等の振り返り 自主設定課題への取り組み 問題集ノート 授業中の学びに向かう態度							
学期末の各 観点比率(%)	40%		30%		30%							
授業計画												
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間数	評価区分1	評価区分2		
1	4	1 数と式 2 方程式・不等式 3 集合と命題 4 関数		5 三角関数 6 三角比と図形 7 図形と方程式 8 指数・対数関数				24	1 学期 中間 考査			
	5	9 微積分 10 場合の数 11 確率 12 データの分析		13 数列 14 ベクトル 15 整数								
	6											
	7	1学期期末考査後の授業期間および7月17日～19日の期間に短期集中講義を行い、数学Cの第1章、第2章を扱う予定								23	1 学期 期末 考査	
	8											
2	9	入試総合演習						30	学 年 末 考 査			
	10											
	11											
	12											
3	1							26				
	2											
	3											

教科名	数学	科目名	数学C	履修学年	中学(高校)	3年	7~9	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT 数学C						
担当者	星野, 樋田, 永野		数研出版 CONNECT 数学Ⅲ+C						
学習目標	暗記型の学習から脱却し、意味理解を重視した学習観の獲得を目指す。 数学的思考を経験する中で概念の構造化を目指す。 振り返りにより学習課題を見出し、望ましい学習観に基づいた学習サイクルを身につけ実践することを目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	教科書に記載されている数学的事実、解法の意味を理解して習得する。また、習得した解法等を用いることで、自力で基本的、典型的な数学の問題解決を図ることができる。		獲得した知識・技能の組み合わせることで、より高度な数学の問題解決をすることができる。また、他者に誤解なく伝わる表現(大学入試を念頭に置き、記述での表現を重視する)で数学的な思考を伝えることができる。			学びの質を高めるために振り返りにより教訓の抽出、学習課題の設定を行い、それを次の学びに活かし学び方を改善しようと努力することができる。また、学びそのものを粘り強く継続して取り組むことができる。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査, 朝テスト		定期考査			問題集ノート 授業中の学びに向かう態度			
学期末の 観点比率(%)	40%		30%			30%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	数学C 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルのその演算 2ベクトルの成分 ~ 4ベクトルの内積					11	1 学期 中間 考査	
	5	第2節 ベクトルと平面図形 5位置ベクトル ~ 6ベクトルの図形への応用							
	6	第2節 ベクトルと平面図形 3図形のベクトルによる表現 第2章 空間のベクトル					9	1 学期 期末 考査	
	7	1学期期末考査後の授業期間および7月17日~19日の期間に短期集中講義を行い、第1章、第2章を扱う							
8									
2	9	入試総合演習					12	学 年 末 考 査	
	10								
	11								
	12								
3	1						11		
2									
3									

教科名	数学	科目名	自選数学I A演習	履修学年	中学・ <u>高校</u>	3年		
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	プリント					
担当者	渡辺							
学習目標	数学 I A の基本問題を確実に解けるようにする。計算力を身につける。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 教科書例題レベルの基本問題の解法が定着しているか。 入試に耐える基本計算力が身についているか。 		<ul style="list-style-type: none"> 答えだけでなく、そこに到達するまでの過程をきちんと記述することができるか。 少し複雑な問題にも、果敢に挑戦することができるか。 		<ul style="list-style-type: none"> 自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。 			
各観点の授業内 評価方法等	単元テスト・計算テスト・レポートで評価する。							
学期末の 各観点比率(%)	100%							
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	○数学 I A 基本演習				10		
	5	中間 考 査						
	6	○数学 I A 基本演習				8		
	7	期 末 考 査						
	8					2		
2	9	○数学 I A 基本演習				10		
	10	中間 考 査						
	11	期 末 考 査						
	12							
3	1							
	2	学 年 末 考 査						
	3							

2024年度

教科名	数学	科目名	自選数学ⅡB 演習	履修学年	中学 高校	3 年 全 組			
単位数	2	使用教科書 補助教材等	自作プリント						
担当者	竹田		数研出版 改訂版 教科書傍用 サクシード 数学Ⅱ+B						
学習目標	数学ⅡBの基礎を確認し、入試で確実に点数を取れるよう学習していく。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	授業を通して学んだ基本的事項や原理法則等を理解している。 また、問題に対して学習した内容の理解および知識利用して、数学的な処理ができる。		数や式、グラフ、図形等の知識・技能を活用し、それらを組み合わせて諸問題に対応しようとしている。 また、自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。			知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、積極的に授業に参加したり諸問題に粘り強く取り組みを行おうとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	確認テスト		確認テスト			課題			
学期末の 各 観点比率(%)	40%		30%			30%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	数学ⅡB 基本事項の確認・演習					12		
	5								
	6	数学ⅡB 基本事項の確認・演習					12		
	7								
8									
2	9	数学ⅡB 基本事項の確認・演習					10		
	10								
	11	数学ⅡB 入試対策問題の演習					12		
	12								
1									
3	2						11		
	3								